

**NextGen**  
connect to the next generation

証券コード:3842

# NextGen Business Report **11th**

株式会社ネクストジェン  
**第11期 株主通信**

2011年1月1日から12月31日まで





代表取締役社長 大西 新二

## ごあいさつ

第11期株主通信をお手元にお届けするにあたり、株主の皆様の日ごろのご支援とご愛顧に厚く御礼申し上げます。

ここに、第11期における決算の概要と、当社の取り組みについてご報告申し上げます。

## Q 当期の業績、主な取り組みについてお聞かせ下さい。

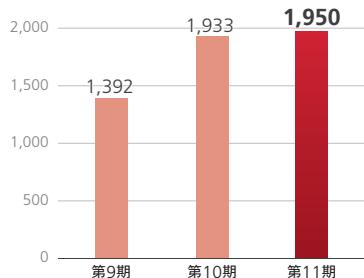
**A** 2011年12月期における業績につきましては、通信事業者向けのソフトウェア製品販売や受託開発が好調であったのに加え、通信事業者システムの保守サービスの売上が拡大、また新規事業として取り組んできたセキュリティ事業の成長もあり、売上高は19億5千万円（前期比0.9%増）となりました。

利益面でも、営業利益8千7百万円（同434%増）、経常利益7千8百万円（同720%増）、当期純利益は6千9

## 当期決算ハイライト

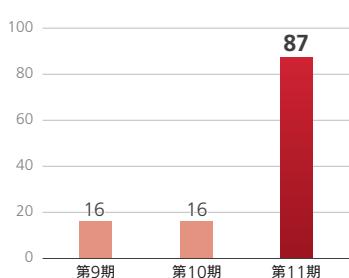
### 売上高

(単位：百万円)



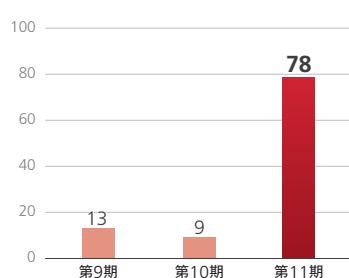
### 営業利益

(単位：百万円)



### 経常利益

(単位：百万円)



百万円（前期は4千3百万円の当期純損失）と大きく躍進し、3期連続での増収、また期初における業績予想を上回っての増益を達成いたしました。

## Q 新しい中期経営計画について お聞かせ下さい。

A 今年度から新たに始まる中期経営計画においては、「インフラ・プラットフォーム志向からソリューション・サービス志向へ」という方針のもと、引き続き成長路線を拡大してまいります。主要事業である「通信システム・ソリューション」、新規事業分野となる「セキュリティ・ソリューション」「クラウド&スマートフォン・ソリューション」の3分野において、当社の強みを発揮できる市場に集中しつつ、効率的、かつ確実な販路拡大を目指します。

その初年度となる2012年においては、売上高21億5千万円（対前年度比10%増）、営業利益1億円（同14%増）、経常利益9千万円（同15%増）、当期純利益

8千5百万円（同23%増）を見込んでおります。

## Q 株主の皆様へメッセージを お願いします。

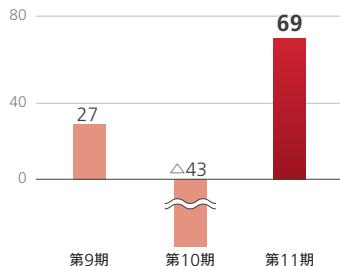
A 今後は、スマートフォンのさらなる普及が市場の起爆剤となることが予想されます。通信事業者においては設備の増強やサービスのスマートフォン対応が、企業においては業務システムのマルチデバイス化とそれに伴うセキュリティの強化が課題となることであろう。これらは当社の技術・サービスが貢献できる分野として、重点的な取り組みを行ってまいります。

これらの需要は国内にとどまりません。パートナー企業との連携を活用し、急成長する新興国、中でも東アジア地域において、当社ソリューションの販売拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きさらなるご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 当期純利益

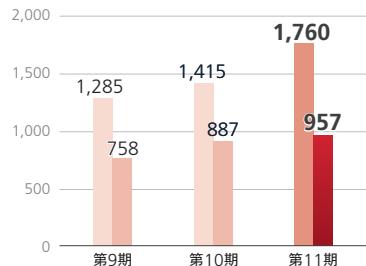
（単位：百万円）



### 総資産／純資産

（単位：百万円）

総資産 ■ 純資産 ■■



### 1株当たり当期純利益

（単位：円）



## インフラ・プラットフォーム志向から ソリューション・サービス志向へ

当社は設立以来、大規模IP電話システムやSIP相互接続サーバ等、通信事業者向けソフトウェア製品の提供を行ってまいりました。これらの通信事業者向けビジネスの経験と実績により培われたSIP/VoIP通信における高度な技術力とノウハウは、当社の最大の強みです。

この強みを活かし、「通信システム・ソリューション」「セキュリティ・ソリューション」「クラウド&スマートフォン・ソリューション」の3つのソリューションを事業の柱として、当社の強みを発揮できる市場に集中した確実な販路拡大を目指してまいります。

通信システム・  
ソリューション

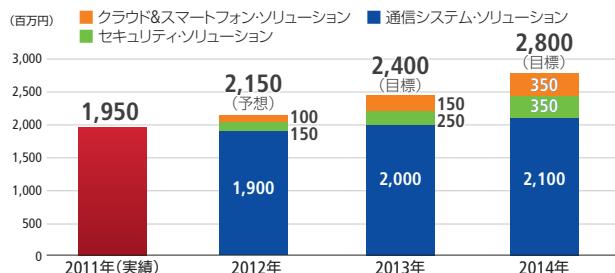
**NEXT GEN**  
connect to the next generation

セキュリティ・  
ソリューション

クラウド&スマートフォン・  
ソリューション

### 業績予想及び業績目標

#### 売上高



#### 営業利益



## 通信システム・ソリューション

- 大手通信事業者向けのSIP/VoIPソリューションからの安定的な収益確保
- 自社の保守サポート体制の拡充とパートナーシップの強化によって、ストックビジネスである保守サポート案件を獲得、蓄積
- 当社の強みの1つである、海外ベンダ製品のインテグレーション、ハンドリングを活かした展開

## セキュリティ・ソリューション

- 拡大するセキュリティ市場への対応力強化のためのアライアンス戦略と体制強化
- セキュリティ製品の機能強化による、製品の訴求力強化や差別化
- クラウド・SaaS型で一般企業向けの監視サービスを構築、提供

## クラウド&スマートフォン・ソリューション

- スマートフォンやタブレット端末など、マルチデバイスで使えるクラウドストレージサービスの一般企業向け展開
- スマートフォンを活用したIPセントレックスサービスの提供
- データと音声を統合した「オンリーワン」ソリューションの提供

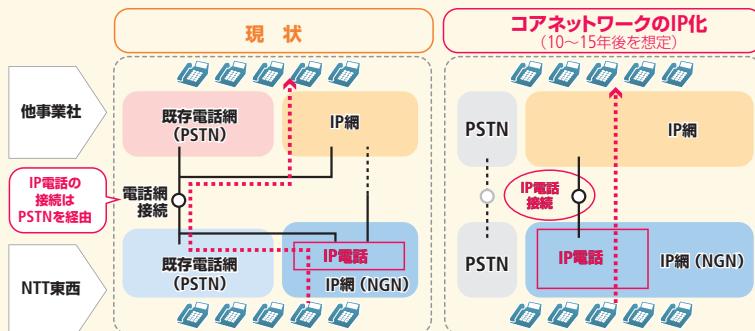
## NTT東西によるPSTNマイグレーション

NTT東日本と西日本（NTT東西）は、2010年11月、一般加入電話サービスなどを提供するための電話網「PSTN（PublicSwitched Telephone Network）」をIPネットワークに移行する計画を公表しました。

この計画の中でNTT東西は、おおむね10年後の2020年ごろからPSTNからIP網へのマイグレーションを開始し、2025年ごろに完了するとしています。

これに伴い、IP電話のPSTN網を経由しない事業者間相互接続への移行などが検討されており（下図）、当社ソリューションの活用が期待されます。

### ■ネットワーク移行(PSTN→IP網)に伴う接続形態の変化



## 成長が期待されるクラウド、スマートフォン市場とセキュリティ

国内クラウドサービス市場は本格的な発展・拡大期を迎えており、低迷する国内IT市場において、高い成長を遂げる分野として期待されています。また、スマートフォンを用いたモバイルソリューションの導入とモバイルクラウドの導入は相関関係にあり、「モバイルソリューションの導入企業の4割は、モバイルクラウドを利用している」との調査結果\*もあります。しかし、PC同様のセキュリティ対策は未整備で情報も不足していることから、業務利用における検討課題となっています。

\*「スマートフォン、タブレット端末、モバイルソリューション、モバイルクラウドの導入動向」(IDC Japan 2011年)による

### ■スマートフォン・タブレット端末市場規模推移



出所:「2011 スマートフォンビジネス総調査」(富士キメラ総研)をもとに当社加工

導入事例 お客様：**通信事業者A社**様

## 仮想化技術とNGN対応で大規模企業内線網の高度化を実現

独自の光ファイバーネットワークを基盤として、さまざまな通信サービスを展開する通信事業者A社様。そのA社様が提供する企業内線サービスは、従来の固定電話の番号や構内交換機などの機器をそのまま利用しながら、IP電話への移行を実現するもの。2004年のサービス開始以来、企業内コミュニケーションを支える、重要な役割を果たしています。しかし、利用者増に伴う設備増強を重ねた結果、サービスの多様化・高度化への対応や運用管理の面で課題を抱えておられました。

ネクストジェンは、次世代ネットワーク規格「IMS」と仮想化技術の活用により、A社様のご要望に対応。先進的な構築例としてご評価いただいています。

### ■次世代ネットワーク技術「IMS」への対応

ネクストジェンが提案したのは、次世代ネットワーク（NGN）対応の最新システム「NXI」。

2010年に販売を開始したこの「NXI」は、NGNにおける世界標準IMS（IP Multimedia Subsystem）のコア機能を提供する通信事業者向けサーバー製品です。

通常、IMS規格に準拠したサービスを提供するためには、ネットワーク上のすべての機器がこの規格に対応していることが必要です。すでにIP電話サービスの提供が進んでいる場合は、IMSへの移行に伴い、ユーザー宅に設置した端末や通信事業者側の装置の置き換えが発生し、新サービス提供の障壁となっていました。

これに対し、「NXI」はネクストジェンがこれまで培ってきた事業者間相互接続の独自技術に基づく「ハイブリッドIMS方式（特許出願中）」を採用。既存のVoIP設備と併用可能な環境を提供し、その問題を解決しました。

サービス切り替えに伴う設備投資を大幅に削減するだけでなく、既存のIP電話サービスを継続提供しながらの新サービスへの段階的な移行を可能にし、エンドユーザーの負担軽減も実現されます。

### ■仮想化技術で運用管理の負担を軽減

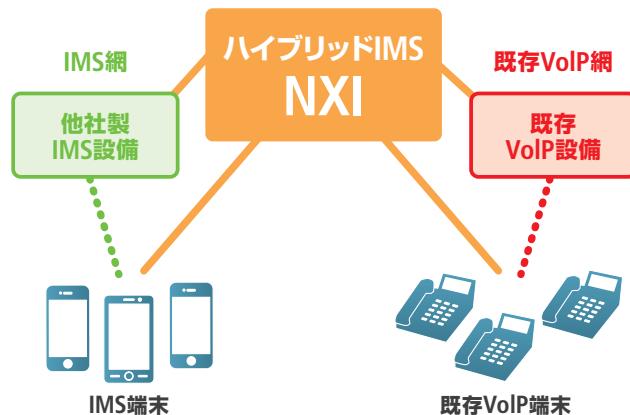
「仮想化」とは、1台の物理的なサーバーに複数の異なるシステムを同時に構築するなど、ハードウェアの構成にとらわれないシステム構築を可能にする技術です。

通常、通信事業者ネットワーク内のゲートウェイやサーバー類は、それぞれ独立した機器で構成されています。設置スペースや電源容量を必要とするだけでなく、保守作業や管理の稼働も、機器の数に比例して増加してしまいます。

A社様では、サービスの拡大やユーザー数の増加に伴い設備拡張を続けてこられた結果、複雑に入り組んだシステム構成に。障害からの復旧やサービス切替作業の煩雑さが問題となっていました。

ネクストジェンは、「NXI」を仮想化サーバー上に構築する構成をご提案。複雑なネットワーク構成をシンプルにし、運用管理の負荷軽減を図りました。

将来的な新サービスへの柔軟な対応も期待でき、高い導入効果が見込まれています。



導入事例 お客様：通信事業者B社様

## ケータイや固定電話との格安通話をスマートフォンアプリから

携帯電話全体に占めるスマートフォンの割合は初めて7割の大半に達したことが報道されるなど、スマートフォンの普及が加速しています。通信事業者B社様では、そのスマートフォンのアプリから「050」番号を使っての通話を実現するサービスを開始されました。スマートフォンを携帯電話として使用する場合に比べ、大幅な通話料金削減を実現するサービスとして、サービス開始直後から順調に利用者を増やしています。ネクストジェンはキャリアグレードの相互接続技術で、このサービスに貢献しています。

### ■ スマートフォンアプリを使った「050」通話のしくみ

スマートフォンからの通話は通常、契約した携帯電話会社のネットワークを経由して相手方に接続されます。しかしこの場合、携帯電話としての料金がかかるため、異なる携帯電話事業者や固定電話への通話は割高になっていました。

また、これまでもIP電話での通話が可能なスマートフォンのアプリは存在していましたが、「発信者番号を通知できない」「固定電話や携帯電話からの着信ができない」など、日常的に利用する電話としてはやや使いにくい面がありました。

B社様は、日本のユーザーが重視するこうしたポイントに着目。「スマートフォンのアプリから、3GやWiFi経由でのデータ通信を使用した050IP電話」サービスの開発を企画されました。

アプリから発信された通話は、インターネットを経由してB社様ネットワーク内に設置されたゲートウェイ装置に接続。この装置で「050」番号を相手方に通知し、通話が成立します。サービスの要となるこのゲートウェイ装置に、ネクストジェン製品が採用されました。

### ■ 「050」通話を実現する事業者間接続技術

iPhoneやAndroidなど、使用する携帯電話の機種を選ばないだけでなく、相手先の通信事業者や固定・携帯、さらには国内・海外の区別もなく利用できる点が高く評価されたこのサービス。

この汎用性を支えるのは、ネクストジェンがIP電話のパイオ



ニアとして培ってきた、事業者間相互接続に関する技術です。

IP電話を実現する「SIP」という規格は、双方向・マルチメディア対応といった高度な通信制御を可能にする反面、複雑な仕様となっています。このため、異なる通信事業者どうしの通話を実現するためには、その事業者間の仕様の違いを調整する、高度な技術力が求められます。

また、公共インフラとしての電話サービスでは、安定した通信品質の確保も重要なポイント。災害時などに急激に増加する通信量にも耐えるシステム構築が不可欠です。

IP電話サービスが急速に普及した2000年代前半から、全国規模の相互接続ソリューションを提供してきたネクストジェンの経験と高い技術力が、ここでも活かされています。

## 企業ユースに必要なセキュリティ機能を備えた スマートデバイス対応クラウドストレージサービス

# U<sup>3</sup> (ユーキューブ)

2011年12月、企業ユースに必要なセキュリティ機能を備えたクラウドストレージサービス「U<sup>3</sup> (ユーキューブ)」の販売を開始しました。

スマートフォンやタブレット端末からの操作を終了したあとは、端末側のデータを自動的に消去。端末の紛失に伴

う個人情報や機密情報漏えいの心配がありません。管理コンソールでのアクセス管理も可能なため、部署異動や退職に伴うアクセス権限の変更にも柔軟に対応します。

将来的には音声サービスとの統合により、ネクストジェンのオンリーワン・ソリューションとして展開する予定です。

## U<sup>3</sup> (ユーキューブ) を利用した次世代の ワークスタイルは、 いつでも、どこでも 情報シェア

### バーチャルプライベートクラウド



社内



PC内の特定フォルダ  
クラウドに同期

- › 現場レポート編集
- › 必要なファイルを現場と共有
- › 現場レポートをリアルタイムにチェック

フォルダ管理

管理  
コンソール

- › 社員アクセスの管理
- › ライセンス管理
- › グループ、フォルダ作成自由自在

端末との切断



万全な情報漏えい対策!

紛失しても安心です!

- › 管理コンソールから共有フォルダと端末のアクセスを切断できます。
- › 管理アプリを閉じると自動的にデバイス内のデータも削除され、端末にデータは残りません。



社外  
現場



# おかげさまで10周年 時代と歩んだネクストジェンの10年

2011年11月16日、ネクストジェンは10周年を迎えました。創業からの10年のあゆみをご紹介します。

## できごと

- IT** 米アップルの共同創業者 スティーブ・ジョブズ氏、56歳で死去
- 時事** 東日本大震災発生。東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的被害をもたらす
- IT** NTTドコモがLTE方式の移動体通信サービス「Xi（クロッシィ）」を提供開始
- 時事** 小惑星探査機「はやぶさ」が帰還、小惑星イトカワの微粒子が回収される。月以外の天体との往復は世界初
- IT** Twitterブーム到来。利用者が急増
- 時事** ワールド・ベースボール・クラシック、日本が2大会連続の世界一
- IT** 米グーグルが「ストリートビュー」、オープンソースブラウザ「Chrome」、Android携帯を提供開始
- 時事** ミリマン・ブラザーズ、連邦破産法11条の適用を申請（リーマンショック）
- IT** UQコミュニケーションズが日本初のモバイルWiMAXサービスを提供開始
- 時事** 郵政公社民営化
- IT** ナンバーポータビリティ制度運用開始
- 時事** ライブドア本社などに自宅捜査。東証が全銘柄の取引を一時停止する「ライブドアショック」に発展
- IT** ブロードバンド契約数が2,000万目前に。FTTHの純増が初めてDSLを上回る
- 時事** 愛知で「自然の叡智」をメインテーマにした国際博覧会「愛・地球博」が開幕。2,205万人が来場
- IT** ソフトバンク、日本テレコムを買収
- 時事** アテネオリンピック 100メートル平泳ぎで北島康介選手が金メダル。「チョー気持ちいい」が流行語大賞に
- IT** NTT東西、固定電話からIP電話への通話サービス開始
- 時事** イラク戦争勃発。自衛隊イラク派遣が始まる
- IT** 関西電力の子会社ケイ・オブティコムがFTTHサービスを関西全域で提供すると発表
- 時事** 北朝鮮が拉致事件を認め謝罪。拉致被害者5人が帰国
- IT** NTT東西、一般家庭向け光ファイバー通信サービス「Bフレッツ」の提供を開始
- 時事** アメリカ同時多発テロ事件

2011

2010

2009

2008

2007

2006

2005

2004

2003

2002

2001

## ネクストジェンのあゆみ

- 11月** 創業10周年
- 10月** テクノロジー企業成長率ランキング 第9回日本テクノロジー Fast50を受賞
- 12月** クラウド型SIP相互接続サービスの提供を開始
- 12月** 第三者割当により資本金を4億8,787万円に増資
- 3月** IMSサーバーシステム「NXI」販売開始
- 12月** SIP対応フォレンジックシステム「NX-C6000」販売開始
- 8月** 通話録音ソリューション「NX-C3000」販売開始
- 7月** パナソニックと共同でデジタル情報家電に関する特許2件を取得
- 6月** NX-B5000に、Acme Packet製品との組合せによるSBC 2Boxソリューションを追加
- 3月** 西日本営業所を開設（大阪市中央区）
- 10月** SIP/VoIPセキュリティコンサルティングサービスの提供を開始
- 3月** 大阪証券取引所へラクロスに上場。初値33万円。資本金を3億8,514万円に増資
- 7月** 伊藤忠テクノソリューションズと業務提携、3G/無線LANデュアル端末対応SIPサーバー「NX-E1000」販売開始
- 1月** 千代田区麹町に本社移転
- 11月** NTTコミュニケーションズにマルチキャリア・セントレックス・ソリューションをユニアデックスと共同で納入
- 5月** 第三者制御にて2者間通話を実現する通信システムに関する特許取得
- 12月** 資本金を9,404万円に増資
- 11月** ユニアデックスと共同で企業用IP電話交換機の販売開始
- 3月** 関西電力新社屋へIPセントレックス導入
- 12月** 港区愛宕に本社移転
- 12月** 国内初の商用IPセントレックスサービス向けSIPサーバーの開発が日経新聞一面に掲載（東京ガスショック）
- 11月** 第1号製品「SS7RS」を通信事業者に納品
- 3月** 中央区築地（日商エレクトロニクス内）に本社移転
- 2月** 国内初のSIPソフトスイッチ商用実装案件を受注
- 11月** 資本金を4,000万円に増資
- 11月** 11月16日設立。本社所在地は東京都渋谷区

## 貸借対照表

(単位：千円)

科目	第11期 (2011年12月31日)	第10期 (2010年12月31日)
資産の部		
流動資産	1,245,872	864,443
現金及び預金	576,649	436,117
売掛金	449,200	360,247
その他	220,022	68,079
固定資産	514,927	550,796
有形固定資産	47,418	60,712
無形固定資産	417,008	429,653
投資その他の資産	50,500	60,431
資産合計	1,760,800	1,415,240
負債の部		
流動負債	537,592	526,156
固定負債	265,766	1,925
<b>1</b> 負債合計	803,359	528,081
純資産の部		
株主資本	957,441	887,158
資本金	488,395	487,870
資本剰余金	438,395	437,870
<b>2</b> 利益剰余金	30,650	△38,582
純資産合計	957,441	887,158
負債純資産合計	1,760,800	1,415,240

## 損益計算書

(単位：千円)

科目	第11期 (2011年1月1日～ 2011年12月31日)	第10期 (2010年1月1日～ 2010年12月31日)
売上高	1,950,824	1,933,254
売上原価	1,251,083	1,411,277
売上総利益	699,740	521,976
販売費及び一般管理費	612,052	505,559
営業利益	87,687	16,416
営業外収益	75	201
営業外費用	9,551	7,081
経常利益	78,211	9,536
特別利益	—	348
特別損失	12,776	51,872
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	65,435	△41,987
法人税等	△3,796	1,083
当期純利益又は当期純損失(△)	69,232	△43,070

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第11期 (2011年1月1日～ 2011年12月31日)	第10期 (2010年1月1日～ 2010年12月31日)
<b>3</b> 営業活動によるキャッシュ・フロー	268,400	182,259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255,209	△285,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,171	406,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,830	△1,284
現金及び現金同等物の増減額	140,532	302,258
現金及び現金同等物の期首残高	436,117	133,858
現金及び現金同等物の期末残高	576,649	436,117

## 財務のPOINT

### 1 負債

製品開発や新規事業の展開を積極的に行うため、短期借入から長期借入へのシフトを積極的実施。資金調達の安定化を図りました。

### 2 利益剰余金

営業利益、経常利益、当期純利益ともに前期比で大幅増。当期純利益69百万円の計上により、繰越利益剰余金がプラス(30百万円)になりました。

### 3 営業活動によるキャッシュ・フロー

対前期比86百万円の改善。これに伴い、キャッシュ・フロー全体として140百万円のプラス、フリー・キャッシュ・フローも13百万円のプラスとなりました。

# 会社概要 / 株式の状況

# Corporate Profile / Stock Information

## 会社概要 (2012年3月27日現在)

商号	株式会社ネクストジェン Nextgen, Inc.
所在地	〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-4
設立	2001年11月16日
資本金	488百万円
社員数	72名

## 役員 (2012年3月27日現在)

代表取締役社長	大西 新二	取締役(社外)	金 克能
取締役	柏木 宏之	常勤監査役(社外)	飛田 和男
取締役	景山 薫	監査役(社外)	出澤 秀二
取締役(社外)	牧野 昌彦	監査役(社外)	天田 貴之

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人 ※1	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。※2

### お知らせ

※1 当社の株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と平成24年4月1日をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。なお、平成24年4月1日(日)は、株主名簿管理人の休業日につき、実際のお取扱いは、平成24年4月2日(月)からとなります。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 (住所、電話番号の変更はございません)

※2 日本証券代行株式会社による取次事務につきましては、平成24年3月末をもって終了させていただきます。

## 株式の状況 (2011年12月31日現在)

発行可能株式総数	60,000株
発行済株式の総数	19,361株
株主数	1,272名

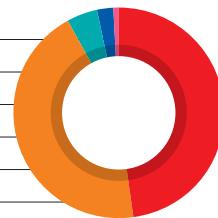
## 大株主の状況 (2011年12月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日商エレクトロニクス株式会社*	6,796	35.10
サクサ株式会社*	2,500	12.91
ネクストジェン従業員持株会	859	4.43
大西新二	611	3.15
植山良明	400	2.06
GLQ,LLC	350	1.80
野村證券株式会社	320	1.65
柏木宏之	220	1.13
古賀英明	199	1.02
藤森 寛	150	0.77

\*2012年2月17日付で、日商エレクトロニクス株式会社が所有する当社株式の一部がサクサ株式会社へ譲渡されました。異動後の両社の持株数および持株比率は、サクサ株式会社 5,500株(28.40%)、日商エレクトロニクス株式会社 3,796株(19.60%)となりました。

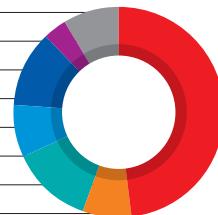
## 所有者別分布状況 (2011年12月31日現在)

所有者	株式数(株)	構成比(%)
■ その他国内法人	9,296	48.01
■ 個人・その他	8,551	44.17
■ 証券会社	896	4.63
■ 外国法人	463	2.39
■ 金融機関	155	0.80



## 所有株式数別分布状況 (2011年12月31日現在)

所有株式数	株式数(株)	構成比(%)
■ 1,000株以上	9,296	48.01
■ 500株以上	1,470	7.60
■ 100株以上	2,459	12.70
■ 50株以上	1,560	8.06
■ 10株以上	2,242	11.58
■ 5株以上	686	3.54
■ 5株未満	1,648	8.51



私たちは  
ネクストジェンです。  
お客様の期待の実現と  
私たちの成長のために、  
全員で夢を  
描き続けていきます。



## 当社ホームページのご紹介

当社では、最新のニュースやIR情報、製品情報など、当社をご理解いただくためのさまざまな情報をホームページにてご提供しています。ぜひご覧ください。

<http://www.nextgen.co.jp/>

ネクストジェン

検索

